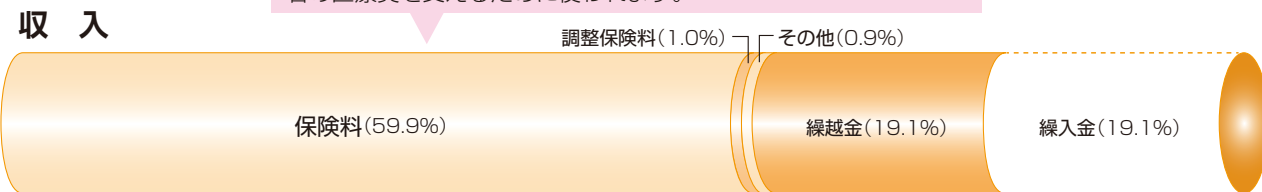


令和3年度 収入支出予算概要

健康保険分 収入と支出の割合

毎月の給与と賞与から納めていただく健保組合の主要財源です。「基本保険料」は皆さまの医療費などに使われ、「特定保険料」は高齢者の医療費を支えるために使われます。



医療費の給付や出産、死亡時の手当金の給付などをするための費用です。

65～74歳の方が対象の前期高齢者医療制度への納付金と、75歳以上の方が対象の後期高齢者医療制度への支援金などです。

収入 (千円)

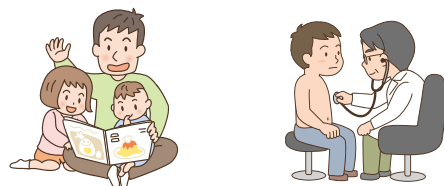


経 常	保 険 料 収 入	250,131
	利 子 収 入	496
	そ の 他 の 収 入	2,074
経 常 外	調整保険料収入	3,928
	前年度繰越金	80,000
	別途積立金繰入	80,000
	そ の 他 の 収 入	1,286
	合 計	417,915
	経常収入合計	252,701



支出 (千円)	経常	事務費	31,359
		保険給付費	197,440
	常	納付金	80,240
		保健事業費	18,443
		その他の支出	2,645
	経常外	財政調整事業拠出金	3,928
		その他の支出	4
		予備費(残金)	83,858
	合計		417,917
	経常支出合計		330,127

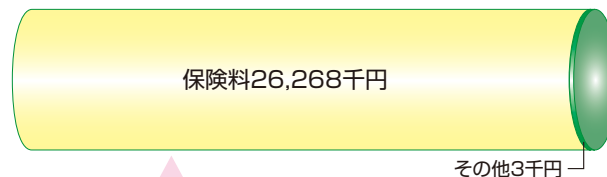
経 常 収 支		-77,426
---------	--	---------



経常収入合計	252,701 千円	—	経常支出合計	330,127 千円	=	経常収支差引額	▲ 77,426 千円
--------	------------	---	--------	------------	---	---------	-------------

介護保険分

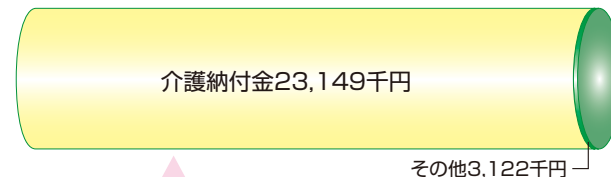
収入合計26,271千円



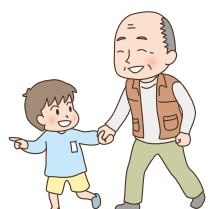
40～64歳の被保険者が負担している介護保険の保険料です。



支出合計26,271千円



市区町村に介護保険の財源として配分するために健保組合が負担する納付金です。

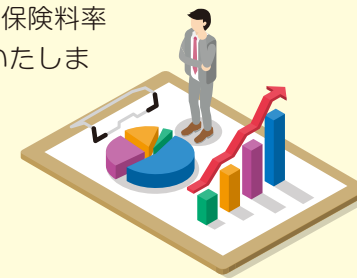


保険料率について

●保険料率は一般保険料率、 介護保険料率ともに据え置き

保険料収入につきましては社員数の減少や賞与の減額などにより健保財政としても厳しい状況ですが、別途積立金繰入や前年度の残金処分の繰越金で対応いたします。

介護保険料率についても健康保険料率と同様に、昨年の料率を維持いたします。昨年に比べ納付金の金額が大幅に下がっておりますので、現状維持した状態で準備金繰入することなく支払いすることができる見込みです。



当健保組合の令和3年度の予算総額は四億一七九一萬五千円となり、経常収支差引額は、七四二萬六千円の赤字となりました。

長引く新型コロナウイルス感染症拡大による景気低迷は、多くの健康保険組合に深刻な影響を及ぼしています。当健保組合におきましても、これまで経験したことのない厳しい財政状況が予想されます。今回の予算では社員数や保険料収入の減少を見込んでおり、赤字幅が前年度より拡大しています。

さらに団塊の世代が75歳に到達し始める「2022年危機」が迫り、来年度以降は後期高齢者支援金の負担の急増が懸念されています。そのため、政府は来年秋以降より、一定以上の所得のある後期高齢者に対し、窓口負担を現行の原則1割から2割に変更することを、新たな方

針として決定しました。しかし、それだけでは現役世代の保険料負担の軽減にはほど遠く、健保組合としては非課税世帯を除く幅広い世帯を対象とするよう、引き続き訴えていきます。

今後コロナ禍による経済面への影響が心配されるなか、健康面では昨年来、新たな課題が指摘されています。感染拡大防止策として外出自粛やテレワークが推進されたことで、生活リズムが乱れたり、運動不足となる人、メンタル面の不調を訴える人が増加しているためです。

皆さまにはコロナ禍にあっても、健康診断の受診や持病の治療などを継続して、日頃の健康管理にも積極的に取り組んでいただき、流行の収束に向けていっそうの感染予防に努めていただきますようお願いいたします。

令和3年度 予算のお知らせ

みなさまの健やかな
毎日をサポートします

ジャヴァグループ健康保険組合の令和3年度の予算案が、第57回組合会（書面決議）において可決承認されましたので、その概要をお知らせします。

